

令和3年度使用教科用図書
調査研究委員会まとめ

教科・種目名	国語
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 各教材の「言葉の力」の欄に身に付ける資質・能力を明示している。「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域の様々な系統の力をバランスよく学習することができる。
- 2 「目標」「問いかけ」「言葉の力」「振り返り」という共通の学習の流れになっており、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができる。
- 3 文章や課題では比較検討することによって本質を見極めさせようとする姿勢が一貫しており「批判的に読む」ことや「情報リテラシー」の指導に活用することができる。
- 4 「学びの扉」は、巻末の「学びを支える言葉の力」とリンクさせて活用することができる。しかし、漫画になっているために扱う際は指導の工夫が必要である。

【三省堂】

- 1 「読み方を学ぼう」では中学校で身に付けたい読み方の方略を明示し、学習方法や学習の過程を図解して示してある。他教科、他領域にも生かせる汎用性がある
- 2 説明的文章では、多様な課題が取り上げられている。また、生徒の知的好奇心を刺激するとともに、現代的な課題について、考えを深めることができる。
- 3 巻末、参考資料の語彙表は、テーマに分けて示されており、語句どうしの関係やつながりを理解することができる。
- 4 「話す・聞く」領域では3学年共通の「話し合いのこつ」が示されているが、本区の生徒の実態に合わせた、指導を工夫する必要がある。

【教育出版】

- 1 単元の初めにある「学びナビ」では、生徒が「何を学ぶか」という見通しをもつことができる。
- 2 「目標」「道しるべ」「振り返り」と学習の流れが統一してまとめられている。生徒が見通しをもって学習することができる。
- 3 説明的文章では、情報、自然、日本文化などのテーマを取り上げている。生徒が多様な側面から現代社会の課題に触れることができる。
- 4 「話す・聞く」領域では、活動の手順やスピーチのモデル、表現・構成の工夫などが示されており、学びのヒントになる。

【光村図書】

- 1 1年次に「音読するときは」「発表するときは」などの「話す・聞く」の領域の基本的スキルを指導する場面があり、導入が工夫されている。
- 2 「書くこと」の領域では「思考の地図」という思考ツールがあり、他教科・他領域への汎用性がある。
- 3 QRコードをタブレット端末等で読み取ることで、作者の音読や中学生の学びの様子を見ることができ、生徒が自宅での学びを深めることができるように配慮されている。
- 4 課題が上下段に分かれているため視点の移動が多くなるなど、指導の工夫が必要である。

教科・種目名	書写
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 B5版変形ということや三段組みのレイアウトもあり資料や内容が充実している。
- 2 「書写のかぎ」により、学習事項が明確になり、目標から振り返りまで、ねらいを焦点化した指導ができる。
- 3 全ての毛筆教材に真上から撮影した運筆動画が設定されており、指導に生かすことができる。
- 4 巻末の「書写活用ブック」を活用した指導をすることで、生徒が書写で身に付けた力を学校生活や日常生活に生かすことができる。

【三省堂】

- 1 各教材が見開きで構成され、学習目標と振り返りが提示されているので学習の見通しが立てやすい。
- 2 国語の教科書とリンクしており、生徒に書写の学習が実生活に役立つという意識をもたせることができる。
- 3 コラム等の付属が少なく、学習内容を絞っているため、学習者は意識を集中することができる。
- 4 QRコードでは、姿勢と構え、筆の持ち方、用具の扱い方など基礎的な知識や技能を確認することができる。

【教育出版】

- 1 毛筆と硬筆が見開きで構成されているため、前時の学習を活かして授業を組み立てやすい。
- 2 毛筆の書道手本の左側にある「生かそう」では、硬筆で書く場合の字形・筆脈を確認することができ、毛筆で学んだことを日常的に書く文字に生かすことができる。
- 3 実物写真があり、生活の中で楷書・行書をどのように活かすかについて考えるレイアウトが効果的である。
- 4 文学作品のなぞり書きや本の帯、ポップの作成、課題解決のための情報整理の方法を扱うページがあり、国語と書写を連携させた指導ができる。

【光村図書】

- 1 「書写ブック」が別冊となっており、硬筆用ノートとして使いやすい構成となっている。
- 2 学習の流れが「①考えよう、②確かめよう、③生かそう」という順で示されており、「何を、どう学ぶのか。」が明確になっている。
- 3 QRコードでは、全ての毛筆教材について書いている様子を真上から撮影した動画を視聴することができる。また、資料を紹介するNHK for schoolの動画を視聴することができる。また、生徒が家庭学習で映像を見ることができる。
- 4 半紙原寸大の手本があり、学びやすい。

教科・種目名	社会 (地理的分野)
--------	---------------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさやレイアウトは適切である。
- 2 単元ごとや節末に、読み物資料「スキルアップ」「地理にアクセス」やまとめとして地図を活用した課題が設定されており、興味を引き出したり、学習を振り返らせたりすることができる。
- 3 単元の表題脇に「学習課題」が示されており、見通しをもたせて学習に取り組ませることができる。
- 4 SDGsについて、第4章に触れられている。テーマ設定、取り組み方について丁寧に触れており、生徒に主体的に取り組ませることができると考えられる。
- 5 見開きの末部分に、「チェック」「トライ」など課題が豊富に設定され、主体的に知識理解、思考力・判断力・表現力を伸ばし育んだり、探求させたりする学習活動に取り組ませることができると考えられる。
- 6 領土の取り扱いは、読み物資料として、一つずつには触れている。

【教育出版】

- 1 見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさやレイアウトが色づかいを含めて適切である。
- 2 単元ごとや節末に、読み物資料「地理の窓」「地理の技」やまとめとして地図を活用した課題が設定されており、興味を引き出したり、学習を振り返らせたりすることができる。巻末に課題解決型の設定もある。
- 3 単元の表題脇に「学習課題（ねらい等）」が示されており、見通しをもたせて学習に取り組ませることができる。
- 4 SDGsについて、巻頭に近いところと、「地球的課題」として取り上げられており、生徒に意識させて取り組ませることができると考えられる。
- 5 見開きの右下に地理の別の単元や歴史・公民との接続を示している。
- 6 見開きの末部分に、「確認」「表現」が設定され、主体的に知識理解、思考力・判断力・表現力を伸ばし育む学習活動に取り組ませることができると考えられる。
- 7 領土問題は、本文中に地名別に項目化してとり上げている。

【帝国書院】

- 1 見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさやレイアウトが色づかいを含めて適切である。
- 2 節末に課題学習や読み物資料としての「地域の在り方を考える」「技能をみがく」「声」「未来に向けて」などが掲載され、観点ごとの学習に取り組ませる際に効果が期待できる。
- 3 単元の表題脇に「学習課題」が示されており、見通しをもたせて学習に取り組ませることができる。
- 4 SDGsについて、巻頭に触れられており、地理的分野の学習において必要な視点と連動させた学習に取り組ませることができると思う。
- 5 見開きの左下に小学校での既習事項や歴史・公民との接続を示している。
- 6 見開きの末部分に、「確認しよう」「説明しよう」が設定され、主体的に知識理解、思考力・判断力・表現力を伸ばし育む学習活動に取り組ませることができると考えられる。
- 7 領土の取り扱いは、本文中に地名別に項目化してとり上げている。

【日本文教出版】

- 1 見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさが適切である。
- 2 本文の末に「深めよう」「確認」等が設定され、学んだことを深めさせる配慮が見られる印象をうける。
- 3 単元の表題脇に「学習課題（ねらい等）」が示されており、見通しをもたせて学習に取り組ませることができる。
- 4 SDGsについて、日本諸地域の課題と結び付けてとり上げている。課題解決の題材に「京都市」がとり上げられている。
- 5 見開きの左下に小学校での既習事項や歴史・公民との接続を示している。
- 6 領土問題は、本文中に地名別に項目化してとり上げている。

教科・種目名

社会
(歴史的分野)

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 見開きに網羅された本文、画像等の資料の大きさ、レイアウトは適切である。
- 2 本文冒頭に「学習課題」が示され、項の終わりの「チェック」「トライ」とリンクさせて、学習を深めさせる意図がみられる。
- 3 ページ下に、学習する時期を示している。
- 4 見開きの両端に解説や発展的な知識について配置している。
- 5 章末の「基礎基本のまとめ」と「まとめ活動」は、個人・グループで取り組ませられる課題を設定している
- 6 巻末の年表で、日本と世界の関わり、中国・韓国の王朝について触れている。
- 7 領土は、本文中でその時の情勢として扱っている。

【教育出版】

- 1 見開きに網羅された本文、画像等の資料の大きさ、レイアウトは適切である。
- 2 表題の脇に「学習課題」が示され、その上に学習する時期が示されている。文末の「確認」「表現」とリンクさせて、学習を深めさせる意図がみられる。
- 3 巻頭の「歴史すごろく」で小学校での学習を確かめさせる工夫がみられる。
- 4 見開きの両端に発展的な内容や解説を配している。ページ下に地理・公民との関連とキーワードを整理して示している。
- 5 節末の「歴史を探ろう」、章末の「学習のまとめと表現」で思考・表現の向上に個人・グループで取り組ませられる課題を設定している
- 6 巻末に年表で、日本と世界の関わり、中国・韓国の王朝について触れている。
- 7 各章に冒頭にQRコードを掲載している。
- 8 領土は、本文に加えて「歴史を探ろう」でその時の情勢とともに扱っている。

【帝国書院】

- 1 見開きに網羅された本文、画像等の資料の大きさ、レイアウトは適切である。
- 2 本文冒頭に「学習課題」が示され、項の終わりの「説明しよう」とリンクさせて、学習を深めさせる意図がみられる。
- 3 ページ下に、小学校での既習や地理・公民との関連が示されている。
- 4 見開きの両端に発展的な知識、右端に学習する時期を配している。
- 5 節末に振り返り、章末の「章の学習を振り返ろう」で個人・グループで取り組ませられる課題を設定している。
- 6 巻末の年表で、日本と世界の関わりについて触れている。
- 7 領土は、本文に加えて「歴史を探ろう」で扱っている。

【山川出版社】

- 1 見開きに網羅された本文が詳細で量が多い。画像等の資料の大きさは、他と比べてやや小さい。
- 2 本文冒頭に「学習課題」が示され、項の終わりの「ステップアップ」で学習を深めさせる意図がみられる。
- 3 見開きの両端に解説や発展的な知識について配している。
- 4 章末の「まとめ」では、学習内容をまとめることができるワークシートを設定している。
- 5 各章の冒頭にある年表で、写真資料とともに日本と世界の関わりについて触れている。
- 6 領土は、本文と読み物資料等で時代背景とともに触れている。

【日本文教出版】

- 1 見開きに網羅された本文、画像等の資料の大きさ、レイアウトは適切である。
- 2 本文冒頭に「学習課題」「見方・考え方」が示され、項の終わりの「深めよう」「確認」とリンクさせて、学習を深めさせる意図がみられる。
- 3 ページ下に、小学校での既習や地理・公民との関連が示されている。
- 4 見開きの両端に発展的な知識、右端に学習する時期を配している。
- 5 編末に「学習の整理と活用」を設定し、思考を深めさせながら、主体的、対話的な学習に取り組める工夫がみられる。
- 6 巻末の年表で、日本と世界の関わり、中国・韓国の王朝について触れている。
- 7 領土は、本文と「歴史を掘り下げる」で扱っている。

【育鵬社】

- 1 見開きに網羅された本文、画像等の資料の大きさ、レイアウトは適切である。
- 2 本文冒頭に「学習課題」が示され、項の終わりに学習内容を振り返る設定がある。
- 3 見開きの両端に解説は、人物に関する内容について配している。
- 4 章末に「学習のまとめ」が学習内容の振り返りと考えさせる設定をとっている。
また、「なでしこ日本史」として、とり上げられた歴史的事象に関連が深い女性をとり上げたトピックがある。
- 5 巻末の年表で、日本と世界の「おもなできごと」について触れている。
- 6 領土は、本文と読み物資料等で時代背景とともに触れている。

【学び舎】

- 1 網羅された本文で起こったことを述べている。画像等の資料の端が別の資料と重なっており、他に見られないレイアウトである。
- 2 本文冒頭に単元で学ぶねらいは示されている。
- 3 ページ両端には、主に人物に関する資料を配している。
- 4 章末の「第〇章をふりかえる」では、個人・グループで取り組ませられる課題を設定している。
- 5 巻頭と巻末の裏表紙に「歴史地図」、巻末に12ページにわたる年表を配しており、他に見られない設定である。
- 6 領土の取り扱い、本文に触れている。

教科・種目名	社会 (公民的分野)
--------	---------------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 画像、イラスト、グラフ等の資料が大きく、本文とのレイアウトも見やすく配置されている。
- 2 巻頭の「現代社会」の部分では、その特色と課題について取り上げている。
- 3 「基本的人権の尊重」の部分では、平等権や新しい人権を丁寧にとり上げている。
- 4 見開きごとに学習する課題が示されている。さらに、単元末に「チェック」「トライ」を設定し、生徒が主体的に学習に取り組む設定がある。
- 5 節ごとの「探究のステップ」を章末で「Yチャート」「ツールミン図式」等にまとめさせることで、段階的に思考を深めさせることができたり、重要語句の確認ができたりする構成である。
- 6 領土の単元は、本文で触れて、読み物資料で詳細に触れている。

【教育出版】

- 1 画像、イラスト、グラフ等の資料が大きく、本文とのレイアウトも見やすく配置されている。
- 2 SDGsに巻頭で触れてから、現代社会の諸課題に入っており、章末でも扱っている。
- 3 「18歳選挙権」を小単元で扱っていると同時に、平等権や新しい人権を丁寧にとり上げている。
- 4 見開きごとに学習する課題が示されている。さらに、単元末に見開きページ右下に「確認」「表現」を設定し、生徒が主体的に学習に取り組む構成になっている。
- 5 章末のまとめでは、取り組む量が豊富で、SDGsの項目ごとや次の章で学ぶことに関連にも触れている。
- 6 領土の単元では、画像が豊富で関係する国々を読み物でも、詳しく丁寧に扱っている。

【帝国書院】

- 1 画像、イラスト、グラフ等の資料が大きく、本文とのレイアウトも見やすく配置されている。
- 2 SDGsに国際社会の単元で触れて、持続可能な社会についても扱っている。
- 3 平等権、差別に関する不当性にスペースを割いている。
- 4 見開きごとに「学習課題」が示され、「確認しよう」「説明しよう」で主体的に学習したり、思考を深めたりできる設定になっている。
- 5 各章の冒頭の「学習の前に」は、導入に効果的であり、章末の「章の学習を振り返ろう」で、学習の振り返りとまとめができる構成になっている。
- 6 領土の扱いは、本文で項を設けて触れている。

【日本文教出版】

- 1 画像、イラスト、グラフ等の資料が適切に配置されている。
- 2 巻頭にSDGsの紹介がある。また、点字を活用する課題が設定されており、生徒の関心を高める効果が期待できる。
- 3 見開きごとに「学習の課題」「見方・考え方」「確認」「深めよう」が設定されて、生徒が主体的に学習に取り組む工夫がある。
- 4 各章、各編の末に「学習の整理と活用」が設定されている。
- 5 領土の単元は、本文で触れて、読み物資料で詳細に触れている。

【自由社】

- 1 見開きのレイアウトで、図やグラフ等はあるが、空白が多く見られる。
- 2 SDGsについては、巻末に扱われている。
- 3 「基本的人権の尊重」の学習では、義務に触れてから権利を学ぶ構成になっている。
- 4 見開きごとに学習する課題が示され、課題も設定されている。
- 5 章末に学習のまとめを設定している。
- 6 領土の単元は、本文に加えて、読み物資料でも触れている。

【育鵬社】

- 1 図やグラフ等が見やすくレイアウトされている。
- 2 巻頭にSDGsの紹介がある。
- 3 「基本的人権の尊重」の学習では、義務に触れてから権利を学ぶ構成になっている。
- 4 見開きごとに学習する課題が示され、単元末に課題を設定し、生徒に主体的に取り組ませる意図がある。
- 5 巻末に学習のまとめを構成している。
- 6 領土の単元は、本文に加えて、読み物資料でも触れている。

教科・種目名	地図
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 始まりの数ページで世界の諸課題について紹介されており、生徒の興味・関心を高める配慮がなされている。
- 2 画像等の資料のレイアウトは適切な印象をうける。統計資料が2色刷りである。
- 3 図書のサイズは、社会科3分野の教科用図書の標準的なサイズと同一である。
- 4 QRコードを導入し、学習の効率化に配慮がなされている。
- 5 歴史的分野の学習でも活用できる資料選定が見受けられ、従来の地図帳になかった印象をうける。

【帝国書院】

- 1 学習活動を始めるときの導入の際に、活用できる画像やイラスト等が豊富で、「活用の仕方」の説明も丁寧であり、生徒の興味・関心を高める構成がなされている。
- 2 「地図活用」の設定により、生徒が主体的に作業学習や問題解決学習に取り組むことができる配慮ある構成になっている。
- 3 画像を除いた資料については、グラフや表のレイアウトが適切であり、色使いも見やすい。
- 4 以前と比べて、サイズが大きくなり、従来よりも見やすくなった印象をうけるとともに、社会科3分野の教科用図書の標準的なサイズと異なるので、見分けがつけやすい。
- 5 コードが随所にプリントされ、ICT端末の活用時には、生徒に主体的に取り組ませることができると考えられる。

教科・種目名	数学
--------	----

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 各節の導入には「？」など、疑問が次の学びへとつながる系統性、連続性のある単元構成となっている。
- 2 問題解決的な学習が多く、協働的な学習活動を展開しやすい。また、「たしかめ」「問」と節ごとの「基本の問題」があり、分量と難易度が適切である。
- 3 各学年の巻頭には「ノートづくり方」があり「数学マイノート」とともにノートへの思考過程の記述の方法を学習することができる。
- 4 各学年の巻頭には、QRコードからアクセスできるデジタルコンテンツが用意されており、教科書だけではイメージすることが苦手な生徒の学習意欲を高めることにつながる。

【大日本図書】

- 1 作図の導入が興味深い内容となっており、点と点の距離や直角が作る角などの説明・演習が詳しく、図形の基礎をしっかりと学ぶことができる。
- 2 天秤のイメージ図と式変形を並列して示すなど、様々な練習課題があり、先を見越したよい内容である。
- 3 「数の性質」の説明問題が多く、非常に丁寧に解説されている。また、二次方程式の解法では、因数分解を利用する方法から始まっていて分かりやすい。
- 4 「発見！仕事のなかの数学」は、キャリア教育と関連して学べる。

【学校図書】

- 1 各単元の最後に、既習事項の確認とさらに学びを深める機会を設けているため、日常生活や社会の事象を数理的にとらえ、数学的に考える資質・能力を育成することができる。
- 2 アイデアボードにより学び合い活動が手軽にできる。また、「例」と「問」の表示と問題文が罫線で区切られていて、見やすくまとまっている。
- 3 「数と計算」領域において、計算力を高める問題が設定されており、十分な計算量が確保できるため、知識・技能の徹底を図ることができる。
- 4 各学年の巻頭でノートの使い方についての説明があり、ノートの基礎・基本を指導できる構成になっている。また、QRコードで生徒が自宅でも学習しやすいように工夫されている。

【教育出版】

- 1 巻末には補充の問題が用意されており、演習量を補うことができるため、習熟の程度に応じて知識・技能の徹底を図ることができる。
- 2 生徒の解答に多く見られるつまずきを取り上げ、自分の理解に基づいて間違いを説明する言語活動を取り入れることができ、知識・技能の定着にも効果的である。
- 3 新しい章を学習する前に準備の問題が設定されており、系統性に沿った指導ができる。
- 4 章の最後には学習のまとめやノートの振り返りの例が設けられている。また、巻末には前学年までの既習内容がまとめられており、いつでもふり返って確認することができる。

【啓林館】

- 1 巻末の「学びをいかそう」が充実しており、実生活の課題解決場面に学習内容を生かすことができる。
- 2 巻末の「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」は予習・復習に活用することができる。
- 3 章末問題は、章で学んだことが小問題ごとに解説されているので、生徒の理解度に合わせて振り返りをすることができる。
- 4 「持続可能な開発目標（SDGs）」や防災教育に関連する題材を扱っており、今日的な課題への取り組みについて配慮されている。

【数研出版】

- 1 各章の最初に「ふりかえり」のページがあることで、既習内容の確認ができ、学びのつながりができる。
- 2 例題やTRY問題に取り組むときに、教師と生徒のやりとりや生徒同士の会話を吹き出しにして考え方の手順を導いているので、苦手な生徒も取り組みやすい。
- 3 別冊に探求ノートがあり、教科書より内容は発展的であり、生徒同士で学び合える内容となっている。
- 4 カリキュラムマネジメントの視点から、皆既日食と金環日食についても数学的に触れるなど、他教科との関連も図られている。

【日本文教出版】

- 1 各章の前に「次の章を学習する前に」があり、必要な知識及び技能を直前に復習することができる。つまづきを未然に確認することができる。
- 2 各学年に3か所掲載されている「学び合おう」では、対話を用いて問題解決をする過程を示しており、生徒が学び方を学ぶことができる。
- 3 各章の導入はシンプルで見やすく、生徒が課題内容の把握しやすい構成になっている。
- 4 キャラクターの吹き出しやノート形式の枠を活用した構成となっており、数学的な表現の例を示しており、苦手な生徒も取り組みやすい。

教科・種目名	理科
--------	----

教科用図書調査研究委員会

まとめ

【東京書籍】

- 1 全ての節のはじめに「レッツスタート！」があり、そこで生徒が自ら気づきを得たり、問いかけにより認知的葛藤が生じたりすることで主体的な学びを、また「科学のみかた」によって理科の見方を具体的に示されており、深い学びを実現できるよう適切に配置されている。
- 2 章末「学んだことをつなげよう」では、章全体の活用課題があげられ、「課題に対する自分の考えは?」、「課題に対する結論を表現しよう」などの言語活動が明確に示されており、育成を目指す資質・能力である表現力の育成に有効である。
- 3 「学びをいかして考えよう」、本文中のコラム、単元末のコラムでは学習内容をどのように活用するのか、また日常生活や社会とどのように関連づけられるのかを振り返ることができるよう配置され、日常生活や他教科との関連についての資料として適切に扱われている。
- 4 各節の探求の流れをページの左下にフローチャートで示してあり、それぞれの活動の位置づけを確認でき、学習の見通しと振り返りとして生徒が学習の見通しを立てたり、学習の振り返りをしたりするといった活動を計画的に取り入れることができるよう構成されている。
- 5 エネルギー・環境教育として、持続可能な開発目標（SDGs）現象について考える場面が設けられており、自然環境の保全に寄与する態度を育成するという道徳科などとの関連の資料とできる。
- 6 A4スリム判で、見開き1ページで1時間を構成しており、授業の進行管理が容易である。文字数や図や表、イラスト、写真のバランスは見やすく構成されている。全体的に明るい紙面で見やすく、マンガも取り入れられ、生徒の心情に応えるように配慮されている。

【教育出版】

- 1 生徒キャラクターの話し合いの内容をヒントにして、自分の考えを「学習前の私」「学習後の私」では理解が深まる変容を認識させることができる。生徒は対話的で深い学びを進めることができるよう配置されている。
- 2 「ハローサイエンス」のコラムが充実しており、理科で学習したこと日常生活や社会とどのように活用されているかについてふれ、日常生活や他教科との関連を図った指導

ができるよう配慮されている。

- 3 各学年の巻頭に「探求の進め方」があり、「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」「計画を立てる」「観察する・実験する」「考察する」「結論を示す」の順で展開されており、学習の見通しと振り返りとして生徒が見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。
- 4 余白が十分にあり、本文と絵、写真の区別が容易である。字も大きく、見やすい。
- 5 実験・観察のページが見開きになっており、実験結果の表なども見やすく、実験の際に活用しやすい。
- 6 「要点と重要用語の整理」は問題形式になっており、要点の整理がしやすい。

【学校図書】

- 1 章や実験のはじめに「CAN-DO List」が設定されており、資質・能力の3つの柱が説明され、どのようなことをできるようになることを求められているかが明示されており、わかりやすい。
- 2 1学年「問題発見」、2学年「しっかり仮説」「しっかり計画」、3学年「しっかり振り返り」と各学年の探求の重点に配慮した工夫がなされている。
- 3 科学的に探求する方法について、巻頭「理科のトリセツ」で解説され、科学的に探求する力や態度の育成するよう配慮されている。
- 4 各単元のサブタイトルが問いになっており、興味、関心を引く。
- 5 実験が詳しく説明されており、考察や探究に至るまで、詳しく図や写真を用いて説明されている。
- 6 授業時間ごとに課題が設定されている。「要点と重要用語の整理」は問題形式になっており、要点の整理がしやすい。

【大日本図書】

- 1 「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」「話し合おう」の活動において、キャラクターの意見交換場面を使い、対話的な学びを促すよう配置されている。
- 2 巻末資料に科学館や博物館などが紹介され、博物館や科学学習センターなどとの連携を考え、それに関わる地域の特色などにも興味・関心が広げられるよう工夫している。
- 3 各章のはじめに「思い出そう（これまでに学習したこと）」が示されており、既習事項の確認がしやすくなっており、小学校の学習を振り返ることで小学校と中学校の学習内容の円滑な接続に配慮されている。
- 4 理科の学習と関連する職業の話題が取り上げられており、学習したことを自分の将来

にいかすことについて考えることができ、キャリア教育に対応した指導ができるよう工夫されている。

- 5 実験の内容、方法について、安全に実験を行うために注意事項等が見やすく説明され「基本操作」をしっかりとさえることで、観察・実験の技能を着実に習得することができる。
- 6 教科書が唯一のB5サイズの規格になっている。全体的にカラーがパステル系の色を使用している中で、注意を喚起する箇所が黄色でペイントされているので、非常に見やすく、「単元末問題」、「読解力問題」など演習のページが充実している。

【啓林館】

- 1 「探Q実験」の中で、生徒キャラクターのイラストを使って意見交換させながら、仮説や計画などを考えることができる。「学ぶ前にトライ」と「学んだ後にリトライ」が設定されており、同じ問いに対して考えることで理解の深まりなどの変容を認識でき、主体的・対話的な学びの実現につながるよう工夫されている。「みんなで探Qクラブ」では、さらに探究的な活動を展開することができる。
- 2 サイエンス資料「理科における話し合いと発表」で、理科での言語活動の要点が紹介されており、言語活動の充実のための資料として適切に扱われている。
- 3 「お仕事ラボ」、「お料理ラボ」などで学習と生活との関わりなどを取り上げ、日常生活や他教科との関連を図った指導ができるよう配慮されている。
- 4 節のおわりに「学習のまとめ」、「力だめし」が設定されており、各章で学んだ知識等がカラーでまとめられ、演習問題が多く設定されているので、振り返り等の学習活動がしやすくなっている。
- 5 図や写真が大きく掲載されており、細かな部分までしっかり確認することができるので見やすい。全体的に紙面が明るく、カラフルである。日常生活で目にするものの写真が多く取り上げられており、学習を身近に感じることができる。教科書を開くと生徒の目線が上から下ではなく、左右に広がる感じがよい。
- 6 文京区ではICT教育に力を入れており、章の始めの「科学にアクセス」についているQRコードは生徒の興味を引きつける。3年生のコラム欄に「バイオ3Dプリンタ」の話題が載っている。区内にラボがあるため、生徒の関心につながられてよい。

教科・種目名	音楽 (一般)
--------	------------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【教育出版】

- 1 学習内容が「学びのユニット」や各題材にあるピクトグラムで分かりやすく示されており、生徒が見通しをもって学習することができる。
- 2 全体的に写真やイラストが多く、歌曲では歌詞のイメージ、器楽曲では各楽器の音色などをイメージしやすい。
- 3 学びリンクやウェブサイトについては、「見る」「聴く」「記録する」の項目に分かれており、授業で必要な情報が調べやすくなっている。
- 4 「比べてみよう」という学習では、曲について比較し表現したり、気付いたことを話し合ったりすることで、主体的・対話的な学びにつなげることができる。
- 5 各楽曲ページの右下には、学習に使用する音楽用語が記載されており、生徒にとって分かりやすい。
- 6 各楽曲ページの左側には、その題材の目標が記されており、その曲で何を学ぶのかが明確になっている。
- 7 言葉とリズムをつなげ、メロディの創作ができるように系統立てられている。

【教育芸術社】

- 1 表紙は生徒が親しみやすいイラストで「音楽ってなんだろう」のページでは、各学年にふさわしいテーマがつけられている。
- 2 各題材の学習内容や音楽を形づくっている要素が見開きで一覧になっており、学習内容の確認がしやすくなっている。
- 3 随所にあるキャラクターの吹き出しによって、主体的・対話的な学びにつなげるための発問が工夫されている。
- 4 「指揮をしてみよう」では、各学年の発達段階に応じたプロの指揮者からの解説が的確で分かりやすい。
- 5 記譜法が分からなくても、オリジナルの表を使用することで、生徒が平易にメロディの創作ができるシステムが作られている。
- 6 我が国の音楽では、長唄や民謡に節回しの絵譜があり、それに合わせて歌うことができる。また、「歌舞伎」「文楽」「能」において、それぞれ、知識を身につける→ポイントを押さえて鑑賞する→表現するという学習の流れが分かりやすい。
- 7 音楽の様々なジャンルを紹介することで、「音楽を愛好する心」を育成できる。

教科・種目名	音楽 (器楽合奏)
--------	--------------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【教育出版】

- 1 リコーダーのタンギングやサミングなどの技能の習得について、詳しく分かりやすい説明と、定着させるために適した練習曲があり、楽しく学ぶことができる。
- 2 箏の練習曲が複数あり、正しい奏法を学ぶことができる。また、縦譜と五線譜の両方が掲載されており、目的によって使い分けることができる。
- 3 ソプラノリコーダーとアルトリコーダー両方に対応した楽譜があり、学校事情に合わせるができる。また、運指が各ページの左側に一覧になっていて見やすい。
- 4 邦楽での奏法の表し方や唱歌についての説明が載っており、唱歌と楽器演奏の関わりについて理解できる。
- 5 ページ配置として、洋楽器と和楽器ではなく、和洋ミックスされた形で、管楽器、弦楽器というまとまりに配置されている。
- 6 取り入れやすい篠笛の楽譜が豊富である。

【教育芸術社】

- 1 学びを深めるために、具体的な手順が示されていて、主体的・対話的な学びにつなげることができる。また、Q&Aの形式で演奏のポイントが記載されている。
- 2 リコーダーのページでは、アルトリコーダーとともにソプラノリコーダー用の楽譜も記載されており、活用の幅が広がられている。また、リコーダーアンサンブルができる教材が豊富で活用しやすい。
- 3 ギターのページでは、コードネームとダイヤグラムの図が合わせて示されており、生徒の発達段階や学習状況に合わせて使用することができる。
- 4 箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器についてバランスよく記載されており、それぞれのページの写真も多く使用された解説で分かりやすい。
- 5 奏法を学習した和楽器を活用し、日本の音階を使用して創作活動をすることで、より深い学びにつなげることができる。
- 6 「笑点のテーマ」のように生徒になじみがある曲を、リコーダー、ギターともに技術的にも平易に書かれており楽しめる。

【光村図書】

- 1 目標が明示されていて、生徒が何を学習するのが分かりやすい。
- 2 すべての題材が鑑賞から表現という流れで編集され、一体的に学習できる構成である。
- 3 生徒が主体的に学習できるように、発想や構想の具体的な手立てが示されている。
- 4 生徒の制作途中の作品が掲載されていて、生徒の目線で制作工程を知ることができる。
- 5 他教科とのつながりを示すコラムがあり、カリキュラムマネジメントへの配慮がある。
- 6 新しい作品、現在活躍している作家、話題の作品が比較的多く掲載されている。
- 7 QRコードを開くと何を見ることができるかについてコードの横に記載があるので使いやすい。技法の説明や360度回転動画、全国の中学生作品などが見られる。
- 8 1年と2、3年と2分冊の構成になっている。
- 9 A4判サイズで構成されている。

【開隆堂出版】

- 1 領域のはじめに扉のページがあり、学習の意味が伝えられている。
- 2 全ページ、学習の目標が3観点から明示されていて、生徒が何を学習するのが分かりやすい。
- 3 新しい作品、現在活躍している作家、話題の作品が比較的多く掲載されている。
- 4 違いを個性として尊重する価値を見出し表現することが美術であるという制作意図が分かりやすい。
- 5 多様化するこれからの社会で身に付けておきたい美術の力を、多様な作品や多様な人々を掲載し編集されていて、横断的な学習がしやすく話し合い活動のテーマにもしやすい。
- 6 全領域にQRコードがある。作品の解説や所蔵先へのリンク、作者の情報などが見られる。
- 7 1年と2、3年と2分冊の構成になっている。
- 8 ワイドサイズ版で構成されている。

【日本文教出版】

- 1 作品数が他社に比べ多く掲載され、領域全体広く網羅されている。
- 2 題材のタイトルやサブタイトルが、訴えかけるものが多く配色や構成も工夫がある。
- 3 全ページ、学習の目標が3観点から明示されていて、生徒が何を学習するのが分かりやすい。

い。

- 4 写真が鮮明で非常に美しい。
- 5 生徒作品について「作者の言葉」が示されており、生徒に理解されやすい。
- 6 授業に取り組む生徒の姿や作品を多く掲載されている。
- 7 QRコードでは、技法の説明や作品の解説、360度回転動画などが見られる。
- 8 1年と2, 3年上下の3分冊の構成になっている。
- 9 ワイドサイズ版で構成されている。

教科・種目名	保健体育
--------	------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 「活用する」で対話的、「広げる」で主体的に考えることのできる構成になっていて、深い学びを実現できる。
- 2 章末問題が現代の社会的課題に触れており、考えるきっかけを作りやすい。
- 3 教科書に直接書き込む箇所が多く、主体的な学びにつながり、復習しやすくなる。
- 4 資料が充実し、コンテンツが豊富で使いやすい。
- 5 保健編の順番が学習指導要領と異なっている。

【学研】

- 1 「考える・調べる」は常に資料と一緒に提示してあり、資料を基に考察できるのでわかりやすく理解が深まる。
- 2 本文の内容が充実しており、章ごとにまとめの問題があって理解しやすい。
- 3 絵・写真等が多く、生徒の興味・関心を高める。バランスもよく見やすい配置になっている。
- 4 「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という段階がわかりやすい。
- 5 コンテンツは他社と比較してやや少ない。

【大日本図書】

- 1 本文の説明が簡潔にまとめられている。
- 2 「トピックス」の内容が興味を引き出すものになっている。
- 3 体育編と保健編の最後に「発展」的な内容を盛り込んでいる。
- 4 イラストや表が多くわかりやすい。表記も、本文と資料が分かれており、整理されている。
- 5 章のまとめがWebサイトになっており、やや授業で活用しにくい。

【大修館書店】

- 1 学習のまとめのページに振り返りチェックがあり、確認しやすくなっている。
- 2 資料が読み取りやすく豊富であり、話し合い活動に活用しやすい。
- 3 「課題をつかむ」「まとめ」が具体的で答えやすい。
- 4 関連サイトが示してあり、調べ学習等で活用しやすい。
- 5 本文の量が多く、図・表が小さいため、やや読み取りにくい。

教科・種目名

技術・家庭
(技術分野)

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 ガイダンスは12ページ構成となっており、説明が丁寧で内容もわかりやすい。
- 2 「技術のとびら」や「TECHLab」で基礎知識や技術について丁寧に説明され、指導資料として活用できる。
- 3 イラストや文字の大きさに統一感があり、落ち着いた画面構成となっている。
- 4 4分野の学習を統合した問題解決学習の設定があり、生徒の興味や技能の習得状況に応じて問題解決に取り組むことができる。
- 5 各編第2章に「問題解決の評価、改善、修正」が配置され、生徒が学習を丁寧に振り返り、学習の到達度を測ることができる。
- 6 目次のQRコードから教科全体の資料を見るように設定されている。

【教育図書】

- 1 ガイダンスのページは6ページと少なめで、授業で使用するには他の資料を必要とする。
- 2 本書に加えて別冊「技術ハンドブック」にも説明があり、実習に係る内容についての情報量が豊富である。
- 3 単元の説明本文と資料解説文の文字の大きさを適度に変えており、必要に応じて押さえたい内容を捉えやすい。
- 4 「スゴ技」「技ピト」のコラムの配置は、学習内容と職業や生活を関連づけて考えさせる工夫となっている。
- 5 各編の「学習のまとめ」はワークシート形式を取り入れ、3つの観点に基づいて振り返りができるようになっている。
- 6 教科書右上ページのQRコードを読み取ることで学習内容に関連した参考資料を簡単に見ることができる。

【開隆堂出版】

- 1 ガイダンスのページは10ページ構成となっており、説明が丁寧で内容も分かりやすい。
- 2 小单元ごとに導入課題「話し合ってみよう」を設定し、問題解決に対する意識をもちながら学習を進めていくことができるように小单元が設計されている。

- 3 文字情報は多めだが適度に改行されており、読みやすくなっている。また、イラストや写真で説明を補完しており分かりやすい。
- 4 単元の導入ページで小学校や他教科との関連、学習の流れ、内容に関する技術史が示され、単元の学習内容に対する見通しをもちやすい。
- 5 「豆知識」「実験」のコラムやQRコードによる参考資料の掲載など、発展的な学習につなげるための工夫が見られる。
- 6 教科書右上ページのQRコードを読み取ることで学習内容に関連した参考資料を簡単に見ることができる。

【東京書籍】

- 1 小学校からの学びの接続や学習の流れが明確になるよう工夫されており、「学習のまとめ」で学習目標に照らした振り返りや自己評価を行うことができる。
- 2 実習の流れに合わせて写真を配列するなど、写真や図表の使い方が適切で、視覚的にわかりやすい。文字もはっきりしている。説明文の量・内容ともに適切である。
- 3 実習例が豊富で、内容も短時間で取り組める題材から発展的に取り組む題材まで示されている。また、実習に必要な技能についての説明も写真や図を用いて丁寧にされており、学習への意欲につながる。
- 4 「生活メモ」が小単元に関連するページにコラム的に配置され、学習内容を深める工夫がされている。

【教育図書】

- 1 章末のまとめは、新学習指導要領に示された新しい目標の3観点に基づき振り返るものとなっている。
- 2 写真やイラストを多用し、視覚的に分かりやすい。文字も大きくはっきりとして読みやすい。写真の色ははっきりしているがやや刺激が強い色彩である。
- 3 実習例は標準的なものを取り上げている。「私のアレンジ」が一部実習例に添付され、発展的に取り組む材料を提示している。
- 4 単元の冒頭に「自立度チェック」が設定され、自分の生活に学習内容を関連付けて考えさせる工夫がされている。

【開隆堂出版】

- 1 小項目毎に学習の目標が示され、中項目毎に振り返りや生活に生かすために考えさせるように構成されている。
- 2 説明文を補完するように写真や図が配置されている。文字の大きさは小さめである。
- 3 実習例は標準的なものを取り上げている。調理では「調理方法Q&A」で作業理由が示されており、調理工程を理解しやすい。
- 4 「豆知識」が各ページに示されており、学習内容の理解を深める工夫がされている。

教科・種目名	外国語 (英語)
--------	-------------

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】NEW HORIZON

- 1 本文と文法が同一ページにあり、bottom-up (ボトムアップ) の指導をイメージした構成となっている。
- 2 Storyは、三段階読み「①概要を掴む ②詳細をおさえる ③表現する構成」であり読解力の向上を重視している。
- 3 6社の中で教科書が一番大きく、小学校で使用している英語の教科書と同じサイズを採用している。
- 4 各unitの導入には、QRコードが準備されており、動画により「目的・場面・状況」を確認できる。
- 5 英語の視点で学ぶコーナー「CLIL」では、他教科で学んだ学習内容を英語で学習することができ、生徒の関心を惹くことにつながる。
- 6 1年生で扱う文法も小学校の時に扱ったものを意識した構成になっている。

【開隆堂】Sunshine

- 1 Scenes：使用場面を漫画で導入→Think：文章の中で使用場面を再確認→Retell：自分の言葉で表現→interact：即興的に自己表現する力を身につける順序となっており、基礎・基本の定着につながる構成となっている。
- 2 Retellやinteractのページが予め用意されており、即興的に話す力の育成を重視している。
- 3 Scenesで場面をイメージし、Listen→speak→writeという流れで、文法はまとめとして扱うtop-down (トップダウン) 構成となっており、学習の流れが明確である。
- 4 Our projectでは、協働学習を意識した内容となっており、スピーチのためのマッピングの方法を1年生の段階から取り組むことができる。
- 5 新しい場面を学習する際に、導入で2コマ漫画や2つの異なる話を提示することで、生徒にとって親しみやすい内容となっている。
- 6 先に文法 (新しい表現) を学習してから、本文 (題材内容) に入る形式となっている。

【三省堂】New Crown

- 1 各ページの活動がListenやTalk&Writeなど独立しているものが多いので、使い方がわかりやすくシンプルである。
- 2 本文と文法が同一ページにあり、bottom-up (ボトムアップ) の指导向きである。
- 3 各レッスンの扉ページには、学びの見通しが示されており、学ぶ内容への動機付けができ、学習の見通しを立てることができる。
- 4 知識・技能を活用して、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする言語活動が「USE」ページでまとめられているため分かりやすい。
- 5 読み物資料が充実しており、まとまりのある英文の概要や要点を読み取る力を育てる構成となっている。
- 6 USE ReadやReading for informationでは英文の概要や要点、必要な情報を読み取ることに力を入れている。

【教育出版】One World

- 1 巻末のQ&Aや動詞の変化表など特に暗記が必要なものが赤字で表記されており、赤のクリアシートで隠すことで、自学の手助けになる。(クリアシート付属)
- 2 勉強の仕方、復習の仕方、シャドーイングやディクテーションなど授業以外の自主学習を紹介している。
- 3 単語と単語のスペースがとても広いので、視覚的に見やすい配慮となっている。
- 4 レッソンの最後にReview、Task、Grammarのコーナーでは、重層的に文法を扱う構成になっている。
- 5 教科書に直接文章を書く欄などがあり、書くことに力を入れている。
- 6 各本文のページ下に"Read Aloud" 10本印つけるところがあり、生徒に教科書の文を音読させる工夫がある。

【光村図書】Here we go

- 1 1年生の教科書は、漫画で使用場面を想像させたり、ページを折って音と単語をつなげたりするなど、生徒の興味・関心を引き出す工夫が多い。
- 2 Unitごとのstory retelling用のページが準備されており、即興的な話す力を継続して身につけさせる工夫があり、導入・まとめにも役に立つ内容となっている。
- 3 単語の発音についてTとRの間に母音を入れない(例: tram)などの発音アドバイスや各partのページの「表現」という欄が新出単語とは別に掲載されている。
- 4 巻末の「その場でスピーキングLet's Talk」は、予め会話で使える質問がテーマごとにマッピングされており、即興的に話す力の育成につなげることができる。

- 5 自分の生活や他教科につながる題材を扱い、英語を通して学んだ知識を結びつけることで、生徒の興味・関心を高めることにつながる。
- 6 Storyが親しみやすく感情移入しやすい。Speakでの質問が、実際の状況に即している。

【啓林館】Blue sky

- 1 各partはinput→intake→outputの構成となっていて、パターンプラクティスで繰り返し学ぶことで、文法・表現を定着することができる。
- 2 「More Information」や「Notes」で資料集のような追加情報が日本語で記載されており、分かりやすい。
- 3 各UNITのpart①から③目標が「話す」「たずねる」「説明する」など話すことを中心にしている。
- 4 物語や落語など楽しい読み物が巻末の「Let's Read」にまとまってあり、生徒の興味・関心を高めることができる。
- 5 高校で扱うディスカッションや長めのライティングなど、高校英語への接続を意識して構成されている。
- 6 Read & Think で長文に触れる機会が多く、生徒の読解力を高める構成である。

教科・種目名

特別の教科 道徳

教科用図書調査研究委員会

ま と め

【東京書籍】

- 1 各学年の「プラス」教材（コラム）では、学習した内容を広げるため裏表紙にQRコードがあり、動画を観ることもできる。
- 2 各教材に、つぶやき等メモのできる欄があり、生徒が気付いたり考えたりしたことを記録できるようになっている。
- 3 「いじめ問題対応ユニット」や「生命尊重ユニット」は計画的に配置されており、いろいろな角度から問題を捉えられ、多面的・多角的に考えるきっかけとなる。
- 4 各学年に配置されている「アクション」には、役割演技や動作化など生徒が主体的・対話的に学習を進められる教材が用意されている。

【教育出版】

- 1 「生命の尊さ」や「いじめや差別の社会」について考える教材には、それぞれ左下にマークが付けられており、生徒に意識をもたせて取り組ませることができる。
- 2 「生命の尊さ」や「いじめ」について扱っている教材では、複数の教材がまとめてユニット化されているので重層的に考えることができる。
- 3 「やってみよう」では、実際にその場面を演じたり、よりよい行いの練習をしたりすることで、教材の学びを深めることにつながる。
- 4 「まなびリンク」（QRコード）では、教材の内容を詳しく知るとともに他の教科と関連付けて学ぶことができる。

【光村図書】

- 1 教材タイトルの下には、朗読や参考動画を活用することのできるQRコードが設定されており、導入時に有効である。
- 2 各シーズンには、ユニット化された教材があり、互いに関連性の深い内容項目が結びつくよう構成されている。
- 3 教科書にダイナミックな写真や漫画など多様な教材が多く取り入れられており、導入時に活用することができる。
- 4 「深めたいむ」では、いじめ問題や情報モラルについて考えられるような発問が設定されている。

【日本文教出版】

- 1 「いじめ」と向き合う教材がユニットの形で構成されており、コミュニケーションのあり方について考えられる内容である。
- 2 道徳的価値が各ページのタイトルの上に表示されており、学習の進め方ではロールプレイや話し合いの手順があり進めやすい。
- 3 別冊の道徳ノートは、発問が記載されていないことでどのような授業展開にも活用することができる。また、生徒は学習の蓄積を確認することができ、自らの振り返りにも活用できる。
- 4 「プラットフォーム」「参考」「私の生き方」では、教材から得られる学びを深めるコラムが用意されており、興味や関心を高めることにつながる。

【学研教育みらい】

- 1 各教材にはメモ欄があり、学習の状況にあわせて、生徒が自分の考えや思いをタイムリーに記入することができる。
- 2 4つの視点とタイトルマークをピクトグラムで示し、色だけでなくデザインの違いでも内容項目がわかるよう、工夫されている。
- 3 1年生の教材では、Lineを模したSNSの画面を扱っており、現実に近い設定がされており、生徒の興味関心につながる。
- 4 脚注に登場人物や出来事についての詳しい説明があり、生徒の教材理解につなげることができる。

【廣済堂あかつき】

- 1 各学年の巻末には、特集ページとして、いじめ・情報モラル・持続可能な社会等の教材があり、生徒に対して現代的課題であることを意識させることができる。
- 2 別冊には、22の内容項目についての教材が掲載されており、各学校の状況に応じた適切な教材が選択できる。
- 3 別冊にある「学習の記録」「心のしおり」「中学〇年の私」等を活用することは、ふりかえり活動において自己の考えの深まりにつながる。
- 4 各教材には、「考える・話し合う」項目が設定されており、「学習の手がかり」や「考えを広げる・深める」手立てが示されている。

【日本教科書】

- 1 3年間の連続性を意識した教材が掲載されており、主人公の成長とともに、生徒の日常から考えを深めることにつながる。
- 2 教科書の名称が学年により異なっているため、生徒は、新年度に気持ちを新たに学習に取り組みやすい。
- 3 内容項目順で教材が構成されているため、関連した授業を集中して取り組ませたい場合やユニット学習を計画する場合には、教師も生徒も扱いやすい。
- 4 教材に応じて、「書いてみよう」「話してみよう」「もっと知りたい」等のコラムが設けられており、生徒に発表させたり実演させたりすることで道徳的価値の深まりにつながる。